



主な問い合わせ先

本店営農経済部門

| | | | |
|------------|------------------|-------------|------------------|
| 改革推進課 | TEL.087-818-4115 | 担い手サポートセンター | TEL.087-818-4188 |
| 営農企画課 | TEL.087-818-4140 | 農産販売課 | TEL.087-818-4109 |
| 園芸課 | TEL.087-818-4122 | 販売促進課 | TEL.087-818-4147 |
| 畜産課 | TEL.087-818-4139 | 酪農振興センター | TEL.087-879-8135 |
| 東讃畜産振興センター | TEL.087-891-7351 | 西讃畜産振興センター | TEL.0875-82-9006 |
| 生産資材課 | TEL.087-818-4162 | 生産資材課(農機) | TEL.087-818-4164 |

地区営農センター

| | | | |
|----------------|------------------|--------------|------------------|
| ■大川地区営農センター | TEL.0879-26-0870 | ふれあいセンター大内店 | TEL.0879-24-3670 |
| ふれあいセンター東讃店 | TEL.0879-23-1377 | ふれあいセンター鴨部店 | TEL.087-895-1771 |
| ふれあいセンター四国大川店 | TEL.0879-53-2228 | | |
| ■中央地区営農センター | TEL.087-847-3901 | ふれあいセンター香川店 | TEL.087-879-3219 |
| ふれあいセンター三木店 | TEL.087-891-1043 | ふれあいセンター十河店 | TEL.087-848-0047 |
| ふれあいセンター林店 | TEL.087-865-5532 | 高松市太田事業所 | TEL.087-865-3332 |
| ふれあいセンター高松市中央店 | TEL.087-815-5271 | ふれあいセンター岡本店 | TEL.087-815-7727 |
| ふれあいセンター牟礼店 | TEL.087-845-5484 | ふれあいセンター国分寺店 | TEL.087-874-1215 |
| ふれあいセンター弦打店 | TEL.087-832-8100 | | |
| ■小豆地区営農センター | TEL.0879-61-1717 | ふれあいセンター池田店 | TEL.0879-75-0410 |
| ふれあいセンターうちのみ店 | TEL.0879-82-1168 | | |
| ふれあいセンター土庄店 | TEL.0879-62-1710 | | |
| ■綾坂地区営農センター | TEL.087-876-9677 | ふれあいセンター松山店 | TEL.0877-47-0313 |
| ふれあいセンター綾南店 | TEL.087-870-8123 | ふれあいセンター川津町店 | TEL.0877-46-1789 |
| ふれあいセンター坂出店 | TEL.0877-48-2911 | | |
| ■仲多度地区営農センター | TEL.0877-64-0612 | ふれあいセンター綾歌店 | TEL.0877-86-1003 |
| ふれあいセンター飯南店 | TEL.0877-98-3278 | ふれあいセンター丸亀店 | TEL.0877-22-0512 |
| ふれあいセンター協栄店 | TEL.0877-75-3193 | ふれあいセンター琴平店 | TEL.0877-73-2958 |
| ふれあいセンター丸亀北店 | TEL.0877-25-2555 | ふれあいセンター多度津店 | TEL.0877-33-1391 |
| ふれあいセンター善通寺店 | TEL.0877-64-0789 | | |
| ■三豊地区営農センター | TEL.0875-25-0260 | ふれあいセンター財田店 | TEL.0875-67-0038 |
| ふれあいセンター山本店 | TEL.0875-63-3103 | ふれあいセンター高瀬店 | TEL.0875-72-6225 |
| ふれあいセンター豊中店 | TEL.0875-62-5493 | ふれあいセンター観音寺店 | TEL.0875-23-4741 |
| ふれあいセンター詫間町店 | TEL.0875-83-2313 | | |
| ■豊南地区営農センター | TEL.0875-54-3124 | | |
| ふれあいセンター豊南店 | TEL.0875-54-4542 | | |

統括店

| | | | |
|---------|------------------|---------|------------------|
| 東かがわ統括店 | TEL.0879-25-3477 | さぬき統括店 | TEL.087-894-7007 |
| 高松南部統括店 | TEL.087-847-3970 | 高松中央統括店 | TEL.087-885-1136 |
| 高松西部統括店 | TEL.087-881-4151 | 小豆統括店 | TEL.0879-61-1710 |
| 綾坂統括店 | TEL.0877-47-1090 | 丸亀統括店 | TEL.0877-22-8201 |
| 仲多度統括店 | TEL.0877-64-0648 | 豊中統括店 | TEL.0875-62-3181 |
| 高瀬統括店 | TEL.0875-72-3181 | 観音寺統括店 | TEL.0875-25-4791 |

※畜産関係に関することは、酪農振興センターまたは各畜産振興センターへお問い合わせください。
 ※融資に関することは、最寄りの支店へお問い合わせください。



令和3年7月版 きらり特集号

夢のある農業、
活力のある地域社会を
 実現するために！
 もっと
 ずっと **JA香川県**





目次

令和2年度トピックス
「**新型コロナウイルス感染症緊急対策事業**」
を実施しました!!1

JA香川県の取組み2
農業振興・地域活性化アクションプログラムの重点施策を紹介

**農業振興アクションプログラムの
取組み結果**4
未来につなぐ農業にするために豊かさを広げる

**地域活性化アクションプログラムの
取組み結果**8
元気な明日をつくるために絆を深める

令和2年度 取組み結果まとめ
「**どんなことをしたの?**」10
◆農業振興アクションプログラム ◆地域活性化アクションプログラム

生産者の声14
「JA自己改革の手応え」を感じています

担い手サポートセンターの取組み16

充実した令和3年度助成事業を紹介17

●主な問い合わせ先



令和2年度トピックス 「**新型コロナウイルス 感染症緊急対策事業**」 を実施しました!!

令和2年度は新たに「**新型コロナウイルス感染症緊急対策事業**」として
新型コロナウイルス感染症の影響により、**県産農畜産物の消費減少等、
農業経営に多大な損害が発生した際の支援**を行いました。



当JAでは新型コロナウイルス感染症対策として
以下の「**新型コロナウイルス感染症緊急対策事業**」
総額**78,138千円**を実施しました。

中でも**野菜出荷コスト支援対策事業**は**46,272千円**、
オリーブ牛経営支援対策事業「優良素牛導入助成」は
17,280千円を支出するなどコロナ禍における価格低迷
に対する対策を実施しました。



なお、「**新型コロナウイルス感染症緊急対策事業**」のほかにも令和2年度は農業者の所得
増大や農業生産の拡大を図るため、販売力強化や生産者の営農支援を目的に、以下のと
おり助成措置や配当を行っています。

- 農業振興・地域活性化積立金**(地域活性化に関する事業を除く).....**280,012千円**
- 営農振興対策事業**.....**123,896千円**
- 事業分量配当金**(販売・産直).....**291,758千円**

また、政府が農林漁業者向けに新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、感染拡大防
止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消
の取組支援を目的として募集を行った「**経営継続補助金**」における経営計画の作成や取組み
をサポートし、**1,413件の補助金申請を受付けしました。**

そして、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少により市場価格が低落するなどの影響
を受けた野菜・花き・果樹・茶等の高収益作物について、次期作に前向きに取組む生産者を支援
し、国内外の新たな需要促進につなげることにポイントをおいた「**高収益作物次期作支援交
付金**」の事業主体として支援を実施し、**最終交付金対象者は2,412名、交付金総額は
1,334,469千円となりました。**

JA香川県の取組み

香川の農業の未来のために



香川県の豊かな「食」と「農」を守り、
地域のみなさまが安心してくださる
地域づくりに取り組めます。



農業振興アクションプログラム

JA自己改革の取組み目標である「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」の実現のために令和元年度に**農業振興アクションプログラム**を策定し具体的な施策や目標値を定めて取り組んでいます。

農業振興アクションプログラムでは令和3年度成果目標200万円超の生産者数3,300名(うち800万円超の生産者数830名)、野菜主要10品目の作付面積合計2,630haを達成するために、様々な施策に取り組んでいます。



農家の方々が大切に育てた農畜産物を高く売るために、販売力の強化に取り組んでいます。

契約取引や直接販売により**安定販売につなげています**。また、GAPへの取組みにより消費者・業者等への**信頼を確保しています**。



農畜産物を生産する上で欠かせない農業資材の価格を安くして、生産・出荷コストを引き下げます。

資材の原料価格が高騰していることから、出荷規格の見直し等を行い、**資材取扱メーカーと価格交渉してコストの低減に努めています**。



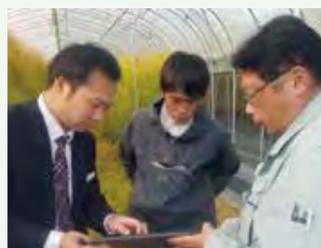
農業者の生産拡大を支援します。

荷造り調整支援、園芸施設拡大、就農に向けた奨学金等の**各種助成制度**や**アグリワーク**での人材紹介により農業者に対する支援を行い、**労力の軽減や人材確保に努めています**。



農業者の多様なニーズに応えます。

専門性の高い指導員の養成、システムを活用した**個々の農家への経営計画の提案**や融資の相談を行い、農業者の悩みに応えています。



地域活性化アクションプログラム

JA自己改革の取組み目標である「**地域の活性化**」の実現のために令和元年度より**地域活性化アクションプログラム**を策定し具体的な施策や目標値を定めて取り組んでいます。

また、**協同組合間連携などの強化**に取り組む、総合事業の強みを発揮して地域の農業とくらしに貢献します。



協同組合ならではの**地域社会における役割を**発揮します。

支店を核とした地域のつながりの強化、女性部仲間作りの支援、直売所でのキャンペーン展開、**SNSを活用した食と農に関する情報発信**等により、**地域活性化に貢献**します。



協同組合間連携等の強化に取り組めます。

他の協同組合と連携した**販わい拠点の創出**、行政等と連携した**地域の見守り活動の実践**等により、**地域社会に貢献**します。



組織基盤の強化に取り組めます。

組合員との対話活動、准組合員との関係強化、**組合員のニーズに応じた新たな組合員組織の創設**により、**協同組合としての組織基盤の強化**に取り組んでいます。



令和2年度

農業振興アクションプログラムの取組み結果

みなさまのご協力で
多くの目標が達成できました!!



成果目標

農業者の所得増大
・
農業生産の拡大

〈目標〉
販売品取扱高
(産直売上高含む)
200万円超生産者
(内800万円超生産者)

3,300名
(830名)

野菜10品目作付面積
2,630ha

青ネギ、アスパラガス、
ブロッコリー、レタス、ナバナ、
キュウリ、ミニトマト、タマネギ、
ニンニク、イチゴ

〈令和2年度〉
販売品取扱高
(産直売上高含む)
200万円超生産者
(内800万円超生産者)

3,074名
(793名)

野菜10品目作付面積
2,503.3ha

青ネギ.....155.7ha
アスパラガス.....67.7ha
ブロッコリー.....1,335.8ha
レタス.....596.3ha
ナバナ.....94.1ha
キュウリ.....27.1ha
ミニトマト.....19.6ha
タマネギ.....73.4ha
ニンニク.....78.2ha
イチゴ.....55.4ha

| 具体策 | 業績評価指標 (KPI) | R元年度 実績 | R2年度 実績 | R2年度 目標値 | R3年度 目標値 | R2年度 進捗評価 ※1 |
|---------------------------|--|---|--|----------------------------|----------------------------|--------------|
| 実需者との複数年契約による安定した米販売価格の確保 | 米の播種前複数年契約数量・金額 | 5,700t 13億円 | 7,000t 16億円 | 7,000t 14億円 | 10,000t 20億円 | 達成! |
| 実需者・消費者への園芸作物の直接販売による所得増大 | 園芸作物の直接販売事業取扱高 園芸作物の直接販売事業取扱率 | 17億20百万円 (7.7%) | 17億97百万円 (8.4%) | 19億円 (8.0%) | 20億円 (8.4%) | 未達成 |
| 主要野菜10品目の平均単価向上による所得増大 | 主要野菜10品目(青ネギ、アスパラガス、ブロッコリー、 レタス、ナバナ、キュウリ、ミニトマト、タマネギ、 ニンニク、イチゴ)の主要中央卸売市場における 平均単価対比より5%以上高い品目数 | 3品目/10品目 | 6品目/10品目 | 平均単価対比5%アップ (10品目/10品目) | 平均単価対比5%アップ (10品目/10品目) | 未達成 |
| オリーブ牛の有利販売による所得増大 | 和牛平均単価(kg当たり)に対する オリーブ牛平均単価(kg当たり) | 単価差 +132円/kg オリーブ牛2,440円 (坂出市場) 黒毛和牛2,308円 (大阪市場) | 単価差 +52円/kg オリーブ牛2,291円 (坂出市場) 黒毛和牛2,239円 (大阪市場) | 単価差 +160円/kg | 単価差 +200円/kg | 未達成 |
| 産直等の売上拡大による所得増大 | ファーマーズマーケット・ 産地直売所の売上高 | 40億10百万円 (657千円/人) | 42億37百万円 (673千円/人) | 43億円 (693千円/人) | 44億50百万円 (717千円/人) ※2 | 未達成 |
| GAP指導員によるGAPに取り組む経営体の支援 | 認証経営体数 | 5経営体 | 2経営体 (累計7経営体) | 3経営体 (累計6経営体) | 4経営体 (累計10経営体) | 達成! |

| | | | | | | |
|--|---|-----------------------------|---|------------------------|------------------------|------------|
| 高度化成肥料の一括集中購買による肥料価格の低減、市況に負けない肥料価格の設定 | 高度化成肥料(オール14・16)等の 市況価格対比平均5%安 ※肥料価格改定月(12月)における価格 市況調査基準月:10~11月 | 市況対比 平均8.65%安 46,695袋 | 市況対比 平均より11.7%安 51,226袋 | 市況対比 平均5%安 | 市況対比 平均5%安 | 達成! |
| 肥料満車直行便の推進による肥料価格の低減 | 肥料満車直行便数 | 188車 | 216車 | 175車 | 215車 | 達成! |
| 市況に負けない農薬価格の設定による生産コストの低減 | 同等品が存在する農薬のうちJA取扱量 上位50品目のうち市況よりも安い品目数 ※農薬価格改定月(1月)における価格 市況調査基準月:10~11月 | 50品目/50品目 | 50品目/50品目 | 50品目/50品目 | 50品目/50品目 | 達成! |
| 農薬の大型規格化による価格メリットの実現 | 取扱アイテム数 | 57規格 | 62規格 | 63規格 | 65規格 | 未達成 |
| 規格の見直し等による出荷資材コストの低減 | 低価格段ボールの販売 従来規格からの値下げ率 | 1規格 (2%) | 3規格 (累計4規格) (2.9%) | 2規格 (累計4規格) (2%) | 2規格 (累計6規格) (2%) | 達成! |
| 低コスト農機の普及 | 推奨機種等(トラクタ)の販売台数 | 178台 | 207台 | 150台 | 170台 ※2 | 達成! |
| ドローン防除の拡大による労力負担の軽減 | ドローン防除作業面積 | 320ha | 369ha | 350ha | 400ha | 達成! |

販売力を強化します。

生産・出荷コストを引き下げます。

※1. 未達成の項目についても継続して取り組みます。 ※2. R3年度目標値はR2年度実績を考慮し一部修正しています。

農業振興アクション
プログラムの取組み結果

農業振興アクション
プログラムの取組み結果

農業振興アクションプログラムの取組み結果

成果目標

農業者の所得増大
・
農業生産の拡大

〈目標〉
販売品取扱高
(産直売上高含む)
200万円超生産者
(内800万円超生産者)
3,300名
(830名)

野菜10品目作付面積
2,630ha
〔青ネギ、アスパラガス、
ブロッコリー、レタス、ナバナ、
キュウリ、ミニトマト、タマネギ、
ニンニク、イチゴ〕

〈令和2年度〉
販売品取扱高
(産直売上高含む)
200万円超生産者
(内800万円超生産者)
3,074名
(793名)

野菜10品目作付面積
2,503.3ha
〔青ネギ……………155.7ha
アスパラガス……………67.7ha
ブロッコリー……………1,335.8ha
レタス……………596.3ha
ナバナ……………94.1ha
キュウリ……………27.1ha
ミニトマト……………19.6ha
タマネギ……………73.4ha
ニンニク……………78.2ha
イチゴ……………55.4ha〕

| | 具体的な施策 | 業績評価指標 (KPI) | R元年度 実績 | R2年度 実績 | R2年度 目標値 | R3年度 目標値 | R2年度 進捗評価 ※1 |
|------------------|--------------------------|-----------------------------|--|--|--|---|--------------|
| 生産拡大を支援します。 | フィールド支援の拡充による作付面積の維持拡大 | 支援メニュー数 支援面積 | 34メニュー 1,313.2ha うち野菜579.9ha、果樹21ha、 米麦等712.3ha | 36メニュー 1,099.4ha うち野菜427.8ha、果樹22.6ha、 米麦等649ha | 36メニュー 1,350ha うち野菜530ha、果樹24ha、 米麦等796ha | 38メニュー 1,350ha ※2 うち野菜500ha、果樹24ha、 米麦等826ha | 未達成 |
| | 荷造り調整支援の拡充による出荷作業負担の軽減 | 荷造り調整支援量 | 20,791t | 18,824.3t | 19,600t | 19,800t | 未達成 |
| | 農業インターン制度を活用した新規就農者の確保 | 農業インターン新規就農者数 | 8名 (累計116名) | 10名 (累計126名) | 10名 (累計128名) | 10名 (累計138名) | 達成! |
| | JA香川県就農奨学金を活用した将来の就農者の確保 | JA香川県就農奨学金受給者数 | 5名 (累計13名) | 2名 (累計15名) | 5名 (累計18名) | 5名 (累計23名) | 未達成 |
| | 助成事業等を活用した園芸施設の拡大 | 新規園芸施設の面積拡大 | 3.02ha | 2.28ha (累計5.30ha) | 3ha (累計6ha) | 3ha (累計9ha) | 未達成 |
| | 農地相談機能の強化による農地の流動化 | 相談会開催回数(各地区年2回以上) | 3回 | 1回 | 18回 | 21回 | 未達成 |
| | アグリワークでの人材紹介の拡大による労働力確保 | マッチング件数 | 158件 | 214件 | 135件 | 180件 ※2 | 達成! |
| 農業者の多様なニーズに応えます。 | 営農指導機能の強化による収量増加・品質向上 | 営農指導員数 指導員巡回件数 | 261名 47,987回 | 272名 50,092回 | 268名 35,000回 | 278名 47,000回 ※2 | 達成! |
| | 担い手サポーターの提案活動による農業者の所得増大 | 経営計画提案件数 | 127先 | 151先 | 150先 | 175先 | 達成! |
| | 生産品目に応じたスマート農業の研究 | 部門(農産・園芸・畜産)ごとに1テーマ | 研究3テーマ 実装1テーマ | 研究3テーマ 実装1テーマ | 研究・実装 3テーマ(累計) | 研究・実装 3テーマ(累計) | 達成! |
| | 新たな園芸品目の推進による産地の確立 | 新規推進品目数 | 0品目 | 0品目 | 1品目 (累計2品目) | 1品目 (累計3品目) | 未達成 |
| | 農機点検の充実による故障の未然防止 | 点検台数 | 1,721台 | 1,703台 | 2,000台 | 1,950台 ※2 | 未達成 |
| | 農業融資の拡充による経営規模拡大の支援 | 農業融資新規実行額 | 15億9百万円 (サンライズ156百万円) | 12億43百万円 (サンライズ143百万円) | 20億円 | 20億円 | 未達成 |
| | 組合員との意見交換によるニーズに即した事業の展開 | 認定農業者訪問回数 意見交換会開催回数・参加者数 | 年2回 20会場・166名 | 0回 2会場・9名 | 年2回 21会場・210名 | 年2回 21会場・210名 | 未達成 |

※1. 未達成の項目についても継続して取り組みます。※2. R3年度目標値はR2年度実績を考慮し一部修正しています。

地域活性化アクションプログラムの取組み結果

みなさまと一緒に大きな目標に向かって進むことができました!



| | 具体策 | 業績評価指標 (KPI) | R元年度 実績 | R2年度 実績 | R2年度 目標値 | R3年度 目標値 | R2年度 進捗評価 ※1 |
|----------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|--|--|-----------------------|-----------------------|--------------|
| 協同組合ならではの地域社会における役割を發揮します。 | 支店協同活動の継続・強化による地域コミュニティの活性化 | ①支店協同活動実施回数 ②支店運営委員会で活動の報告・提案 | ①1,429回 ②支店×2回 | ①765回 ②支店×2回 | ①113店舗×3回 ②支店×2回 | ①113店舗×3回 ②支店×2回 | 達成! |
| | 女性部・フレッシュミズ部会の諸活動との連携による地域の活性化 | 女性部活動に役職員が連携した活動数 | ゴミゼロ清掃活動実施回数 55回 仲間づくり応援企画実施回数 36回 | ゴミゼロ清掃活動実施回数 38回 仲間づくり応援企画実施回数 84回 | 26地域女性部×2回 | 26地域女性部×2回 | 達成! |
| | 青壮年部との連携による農業振興を通じた地域の活性化 | 新規盟友数 | 12名 | 6名 | 5名 | 5名 | 達成! |
| | JA香川県ポイントサービスの充実による直売所利用者の拡大 | 直売所利用者数 | 3,678,837名 | 3,743,601名 | 3,909,000名 | 3,954,000名 | 未達成 |
| | Webメディアの活用による「食」と「農」の情報発信 | ホームページ・SNSによる情報発信回数 | Facebook 41件 Instagram 46件 HP(旬の情報 12回) (レシピ集追加 1回) | Facebook 69件 Instagram 69件 HP(旬の情報 12回) | 月2回以上 | 月2回以上 | 達成! |
| | 子ども食堂実施団体への支援による地域の活性化 | 支援団体数 | 仕組検討 | 1団体 | 1団体 | 3団体 | 達成! |
| 協同組合間連携等の強化に取り組みます。 | 他の協同組合との連携による地域の活性化 | コープかがわとの共同店舗数 | 1店舗 | 3店舗(累計) | 2店舗(累計) | 3店舗(累計) | 達成! |
| | 行政等との連携による独居高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくり | 見守りネットワーク未締結先との協定締結および活動協力 | 琴平町と見守り協定締結 | 2町と締結(土庄町・綾川町) ※多度津町とは締結に向け調整中 | 未締結市町(7市町)と見守り協定を順次締結 | 未締結市町(5市町)と見守り協定を順次締結 | 取組み中 |
| | 商工会等との連携による地域の活性化 | 商工会等と連携した活動回数 | 27回(会議を含め52回) | 9回(会議を含め15回) | 39回 | 15回 ※2 | 未達成 |
| | 香川大学との連携による組合員の意思反映・運営参画のあり方についての共同研究 | 准組合員の意思反映の仕組みの構築 | 准組合員意思反映研究会の発足および准組合員へのアンケート | 准組合員意思反映研究会4回開催 | 成案 | 実践 | 達成! |
| 組織基盤の強化に取り組みます。 | 組合員との対話活動を活かした事業運営 | 広報誌(きらり)・エリア通信での結果報告 | 1回 | 2回 | 2回 | 2回 | 達成! |
| | 准組合員との関係強化 | 准組合員との交流会開催回数 | 18統括店 | — | 18統括店 各1回 | 12統括店 各1回 | 未達成 |
| | 組合員学習会の開催 | 学習会開催回数 | 総代研修会:1回 | — | 総代研修会:1回 学習会:各地区1回 | 総代研修会:1回 学習会:各地区1回 | 未達成 |
| | 新たな組合員組織の創設 | 広報活動モニター制度の仕組みの構築 | 要領作成 | アンケートテーマ ①7月「当組合の広報活動」 ②9月「香川県産農畜産物と直売所」 ③12月「JA事業と今後の広報」 | 実践 | 実践 | 達成! |

※1. 未達成の項目についても継続して取り組みます。 ※2. R3年度目標値はR2年度実績を考慮し一部修正しています。

「どんなことをしたの？」

農業振興アクションプログラム

どんなことをしたの？

販売力を強化するために何をやったの？



JAではこんなことをしました。

実需者との複数年契約による安定した米販売価格の確保

令和2年産米について、取引先との協議を進め、令和元年産米価格水準での固定価格複数年契約を締結しました。



実需者・消費者への園芸作物の直接販売による所得増大

直販事業拡大に向け、複数品目提案や特定品目に関する個別提案を強化しました。また、市場関係者と協議し、販売力強化に努めました。



産直等の売上拡大による所得増大

令和3年3月28日、ファーマーズマーケットの2号店として「讚さん広場 滝宮店」を「道の駅滝宮」敷地内にオープンしました。



一括集中購買による肥料価格の低減、市況に負けない肥料価格の設定

低コストの高度化成肥料の推進に取り組み、また、市況調査を実施して価格設定を行いました。



肥料満車直行便の推進による肥料価格の低減

配送経費削減PRIにより肥料満車直行便の利用拡大に取り組みました。



低コスト農機の普及

大型機種（農機用）規制緩和に伴い、小型機種購入助成キャンペーンを実施しました。



取組みにおいて多くの目標値を達成することができました。



令和2年度はこうなりました！

令和2年度目標値 契約数量・金額
7,000t・14億円に対し、

7,000t・16億円で目標達成！



令和2年度目標値、園芸作物の直接販売事業取扱高19億円に対し17億97百万円の実績でしたが、直接販売事業取扱率は目標値8.0%に対し、

8.4%となりました！

産直等全体で前年度実績
40億10百万円を上回る

42億37百万円の売上高となりました！



市況対比平均11.7%安を実現しました。取扱量についても、46,695袋から4,500袋以上増加し、

51,226袋で目標達成！

直行便数は令和2年度目標値175車を上回る

216車で目標達成！

前年度より41車増加しました。

令和2年度の目標トラクタ販売台数
150台を大きく上回る

207台で目標達成！



どんなことをしたの？

農業者の多様なニーズに対応するために何をやったの？

農業を手伝ってくれる人を探してるんだけど？

今後農業をしていく人がいるのか心配？

JAではこんなことをしました。

担い手サポーターの提案活動による農業者の所得増大

担い手サポートチーム内で情報共有を図り、検討を行いました。農業経営支援システムを活用し、所得増大に向けた事業提案を行いました。



生産品目に応じたスマート農業の研究

畜産では労働力を軽減し持続性のある生産を支援するための畜産商材を助成制度で普及しました。



アグリワークでの人材紹介の拡大による労働力確保

求人情報について、「アグリナビCMバナー広告」、「四国新聞求人ウィークリーJob全県版」、「JA香川県HP」へ掲載するとともに、「アグリワーク」にかかるチラシを県内のハローワークに掲示しました。



農業インターン制度を活用した新規就農者の確保

新規就農者を育成するために就農支援を実施しました。



令和2年度はこうなりました！

令和2年度目標値 経営計画提案件数 150先を上回る

151先で目標達成！



農産・園芸・畜産部門で取組み、検討を行い研究3テーマ、実装1テーマで目標達成！

令和2年度目標値 マッチング数 135件を大きく上回る

214件で目標達成！
前年度より56件増加しました。



令和2年度農業インターン生10名が先進農家での生産技術習得等の研修を1年間行い全員が修了し就農しました。

地域活性化アクションプログラム

地域に密着した活動とは？

農産物の提供などを通じて地域社会に貢献

香川県社会福祉協議会と連携して栄養のある食事を提供するため、農産物などの提供を行いました。



長引くコロナ禍のもと、ひとり親世帯等へ健康的な食生活の基礎となる野菜や果物などの食材を提供しました。

協同組合間連携って何？

それぞれの得意分野を活かし補い合う店舗づくり

生活協同組合コープかがわと包括連携協定の下、JAの農産物直売所に来店されたことのない地域の皆さまにも、安全安心な県産農産物にふれる機会をつくりました。



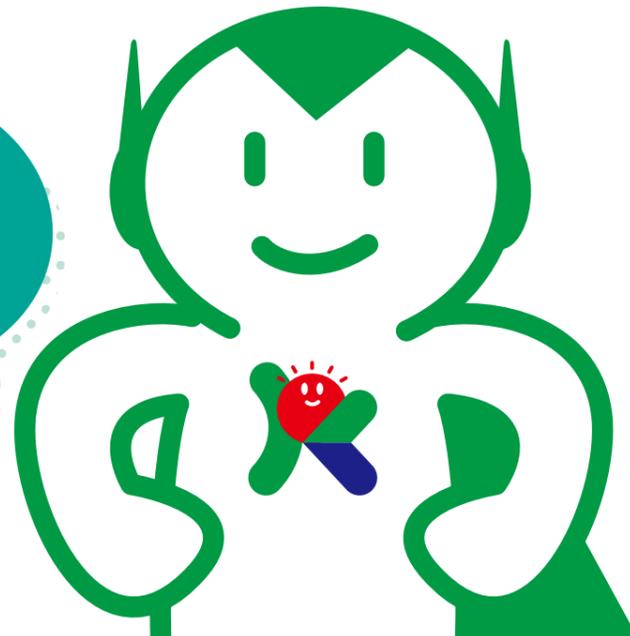
ファーマーズマーケット讃さん広場 飯山店の敷地内に「ここね飯山」を、コープ太田店内に「JA産直市コープ太田店」をオープンしました。

生産者の声

「JA自己改革の手応え」を感じています。

JA香川県では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指し、さまざまな支援活動を行っています。新規就農の方からキャリアのある認定農業者の方まで、JAの存在をどのように受け止め、役立てているのか、生の声をご紹介します。

みなさまの喜びの声が
新たな取組みへの
エネルギーと
なっています！



担い手サポーターや補助金制度の力でイチゴ栽培を始める

代々レタス農家である祖父の手伝いをするために農業の道に進んだのが4年前。2年前には娘の静里奈が手伝ってくれるようになりました。その娘がイチゴを栽培したいと言うので、担い手サポーターが親身になって相談に乗ってくれました。補助金制度などを教えてくれたおかげで、施設整備をすることができましたが、その後も作業や技術に関する支援をいただいたり、相談ごとにも適切に対応していただいたりと、本当に足を向けて寝れないと感謝しています。イチゴづくりの師匠を紹介してくれたのもJAさんでした。

川崎 修枝さま

観音寺市豊浜町



左から川崎 修枝さんと娘さんの静里奈さん。JAのサポートでイチゴ栽培を続けています。

プロフィール

就農4年目。イチゴ13a・レタス80a・モモ20a・タマネギ5a・米99a



出荷作業に苦勞してはいますが、「イチゴは人を幸せにする果物」という師匠の奥さまの言葉を反すうしながら奮闘を続けています。

藤田 剛さま

高松市西山崎町



手前が藤田さん。JAは情報や技術の提供だけでなく、助成制度も充実しており頼れる存在です。

プロフィール

就農2年目。
ミニトマト9.5a・ブロッコリー15a



農業インターン制度で新規就農、JAのネットワークに感謝

JAの農業インターン制度を利用して農業を始めました。当時サラリーマンだった私でしたが、この制度による手厚いサポートが就農を後押ししてくれました。JAの紹介により農家さんで1年間の研修を受けますが、この間給与をいただきながら栽培指導を受けることができるありがたい制度です。農業大学の講義を受けることもでき、JAならではの手厚いサポートに感謝しています。独立後にはハウスを建てるにあたってJAの補助金を利用しました。また、JAの組織力を背景に、部長さんや新規就農者とも繋がることができ、壁にぶつかったときにはみなさんから乗り越える力もいただきました。

自身の出荷データなども要望すればJAの担当者が提供してくれます。JAからは栽培技術をはじめ、いろいろな情報をいただき、参考にしています。



間島 真司さま

さぬき市長尾東



帽子をかぶっているのが間島さん。牛の購入に北海道に行くこともあり、購入も販売もJAの力がなければ成り立ちません。

プロフィール

畜産に従事して約25年。
約220頭(オリーブ牛約200頭)



購入・出荷、JGAP取得でもありがたさを実感

両親の後を継いで畜産を始めたのがおよそ25年前。周囲が住宅地化してきたこともあり、またオリンピックでの需要拡大を見越して2年前からJGAP(ジェイ・ギャップ)※の認証に取組み、令和2年12月に取得しました。これには113にもおよぶ細かい項目があり、厳しい基準が設けられています。当然ながら、畜産農家の奮闘だけで取得できるものではなく、県や普及所、そしてJAによる情報提供や勉強会の後押しがあり、無事に取得することができました。現在はオリーブ牛を中心に肥育していますが、当初はエサであるオリーブかすの入手でも大変お世話になりました。

※JGAPは Japan Good Agricultural Practice(日本の良い農業のやり方)の略で、「家畜・畜産物」の審査基準は、持続可能な農場経営への取り組みに重要となる食品安全をはじめ、家畜の健康や環境保全など、全部で113にもおよぶ項目があります。

牛の購入・出荷においても全国レベルですので、JAのとりまとめがなければできません。コロナ禍となりJAの導入補助も活用しています。



担い手サポートセンターの取組み

農業者の農業経営に関する悩みや課題解決を図るため、「担い手サポートセンター」では所得増大に向けた提案活動を行っています。地区の担い手サポーターが農業者のみなさま一人ひとりから農業経営の現状やご意向をお伺いし、経営上の課題や解決方法をみなさまと一緒に考えて、農業者の所得増大に向けた提案活動を行うことで、JA自己改革の取組み目標でもある「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」を実現するため、農家支援に向けた個別訪問の強化を図っています。



どんな取組みをしているの？

地域の担い手サポーターは、**農家に出向き、現状抱えている課題や、JAに対するご意見、ご要望を伺ったり、国や県の各助成事業など情報提供**を行っています。また、頂いたご要望、ご意見についてはJA事業に反映させています。

令和3年度の新たな取組みは？

今年度の重点取組みとして、過去に訪問し、**農業経営に関する悩みや相談を受け、事業提案した先へのフォロー活動や新しい農業経営のモデルとなる農業者の担い手育成に向けた活動**を行っています。また、地図に基づく作業の効率化や農地集積に向けた新たな取組みとして「**JA全農営農管理システムZ-GIS**」を導入し、JAと農地情報の共有化を図ることで圃場の課題解決や**電子化による効率的な農地・経営管理**を進めています。



農業経営をしていく上での課題や相談事等ありましたら、**ぜひ統括店、営農センターの担い手サポーターまでお声かけください。**



生産者をしっかりサポート 充実した令和3年度助成事業を紹介

●園芸に関すること

- (1) **施設園芸拡大・高度化事業** …… 園芸施設の新築、増築費用の助成。既存設備の高度化にかかる費用の助成
- (2) **フィールド支援利用推進事業** …… 園芸品目のフィールド支援利用者に対する助成
- (3) **荷造り調整支援推進事業** …… 前年対比で増加した荷造り調整支援量に対する支援費用の一部助成
- (4) **園芸生産拡大・産地基盤強化対策事業** …… 高品質生産や低コスト化のための新技術・新資材・機器の導入経費に対する助成

●畜産に関すること

- (1) **オリーブ牛優良素牛導入促進事業** …… 黒毛和種(肥育素牛)の購入費用の助成
- (2) **オリーブ牛高品質化推進事業「遺伝子評価事業」** …… 黒毛和種繁殖雌牛遺伝子検査料の助成
- (3) **酪農後継牛自家育成等助成事業** …… 生乳生産を目的に乳用牛の自家育成を行う酪農家に対する助成
- (4) **ICT(情報通信技術)を活用したオリーブ牛生産向上対策事業** …… ICTシステム整備初期費用の助成
- (5) **優良繁殖雌牛確保事業** …… 県内繁殖用素牛として、血統登録を行う黒毛和種および、ホルスタイン種雌牛に対する助成
- (6) **乳牛を活用した和牛子牛生産促進事業** …… 酪農家が飼育する乳牛に和牛受精卵を移植して生産した、ET和子牛を畜産振興センターを通じて販売した実績に対する助成
- (7) **優良種豚導入事業** …… 優良種豚(全農ハイコープ豚)の購入代金に対する助成



●生産資材に関すること

- (1) **肥料満車直行使に対する上乗せ助成** …… 満車直行使利用者に対する助成
- (2) **大口農家・農業生産法人等対策奨励** …… 当JAから購入した肥料農薬の合計供給金額に適用した支出基準による奨励金の支出

●農業機械に関すること

- (1) **小型トラクタ購入助成事業** …… 小型トラクタ(当JA指定機種)購入費用の助成
- (2) **小型コンバイン購入助成事業** …… 小型コンバイン(当JA指定機種)購入費用の助成

●麦作振興に関すること

- (1) **「さめきの夢」等総合生産推進事業** …… 麦作の作付拡大面積に対する助成

●新規就農者に関すること

- (1) **JA香川県就農奨学金** …… 就農を目指す学生に対する奨学金の給付
- (2) **JA香川県インターン修了者新規就農助成** …… インターン修了者が新規就農する際の営農費用の一部を助成

●労働力確保に関すること

- (1) **労働力確保支援事業** …… アグリワークでマッチングした雇用費用の助成

●鳥獣害対策に関すること

- (1) **わな猟 狩猟免許取得支援事業** …… わな猟 狩猟免許の取得・更新経費に対する助成

●農業融資に関すること

- (1) **JAバンク香川農業資金保証料助成** …… 当JAで農業資金をお借入の際に必要な保証料を助成
 - (2) **JAバンク香川農業資金利子補給** …… 当JAから農業資金をお借入の際に必要な利子負担を軽減
- なお、農業資金に関する融資につきましては、地域農業活性化資金「サンライズ」をご用意しています。

充実した令和3年度助成事業を紹介



※赤字になっている事業は、経営規模にかかわらず利用していただける事業です。
 ※助成事業の残額を超えて申請がある場合は、早期終了または助成率を引き下げて実施する場合があります。
 ※詳しい内容については、営農センター、支店等に備え付けの「令和3年度 農業振興・地域活性化助成事業ガイドブック」をご覧ください。